

平成31年度4月 政務調査活動報告

議員名 中内 桂郎

皆さまには、格別なる4月となられたこと、心から感謝します。

殊に選挙中に思ったことは、地域のすみずみまで歩いているように思ったが、なかなかそうはいかなかったことを深く反省しております。

私は、河川事業にも少々力を入れてきた今日を振り返り、再度この点を歩いてみてはと思いました。

波介川河口導流事業（新居地区）そして萩谷川と新町川（宇佐地区）渡し上り川（蓮池地区）火渡川、長池川（高岡地区）と甲原川（北原地区）等々に思いを寄せ選挙後に歩いてみた。

そして、国交省が対応してくれた新居の海岸通りの堤防事業、そして県が南海トラフ地震のための堤防事業（宇佐地区）これ等の事業に対して選挙中に知事の名前をだして今後対応する旨を声を大にしてウソの発言をしてきた某氏の関係等、残念に思っていない。

河川にせよ、堤防にせよ、信実をしっかりと地域住民にしてもらいたいし、そのことが大切なことではないかと思う。

上記のことについては大変案じている。

「無心不立」と言葉がありますが、私は今後もこの言葉を大切にして歩みたく思う。